

# 薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2023年  
4月8日  
第149号



## ムラサキハシドイ (モクセイ科)

管理棟近くのフェンス沿いに、薄ピンク色の花が咲いています。ヨーロッパ原産の低木で、英語名のライラックのほうが一般的でしょうか。明治時代中期にアメリカから北海道に導入され、街路樹や庭木としても多用されています。札幌市の木として指定されるように冷涼な気候を好むため、名古屋では暑すぎて花期は短いです。属名の *Syringa* は、ラテン語で笛やパイプを意味し、枝の髓の部分を作りぬいて管にして笛を作り、古代ギリシャでは羊飼いたちがライラックの笛を吹いていたそうです。また、トルコではこれをパイプとして使用したそうです。花の香りがよいので、日本では精油成分を香料として利用されます。また中国では、白い花を咲かせる変種（シロライラック）の根が、白花丁香（ハクカチョウコウ）という名の生薬となり、中医学で清心安神を目的に、不眠、頭痛、健忘などに使用されるそうです。

## ナシ (バラ科)

管理棟北側のフェンス沿いで、ナシの花が咲いています。果実を生食し、豊水や二十世紀など、さまざまな品種が開発されていますが、この株の品種は不明です。これらはいずれも日本にも自生するヤマナシの栽培品種になります。野生のヤマナシの果実は2~3 cmと小さく、果肉が固く、酸味が強いので、食用には向きませんが、その果皮が生薬の沙梨（シャリ）となり、中医学で清熱解毒、清暑解渴、生津収斂を目的に、空ぜき、熱病、関節痛、頭痛、多汗症などに使用されるそうです。日本で「梨」というとヤマナシの栽培品種を指しますが、中国で「梨」というと、別の種となるチュウゴクナシの栽培品種を指します。こちらの新鮮あるいはスライスして乾燥させた果実が、生薬の梨（り）となり、生津、潤燥、清熱、化痰を目的に、熱病、消渴、便秘などに使用されるそうです。